

活動名称 (40字以内)	高齢社会の課題への取り組み ~老人ホームはどのように評価されるのか?~		
団体名等	NPO法人老人ホーム評価センター / 本学社会連携本部 卒業生部門 協力: 高齢社会総合研究機構 秋山弘子特任教授		
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動 <input type="checkbox"/> 国際交流体験活動 <input type="checkbox"/> 就労体験活動 <input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動 <input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動 <input type="checkbox"/> 研究室体験活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順 <input checked="" type="checkbox"/> 書類審査 <input type="checkbox"/> 面接
		募集人数	2-4 人
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019/8/1(木) ~ 2019/8/15(木)	主な活動場所	神奈川県横浜市近辺
	上記の内の5日間程度(事前学習を別途行う)		
目的	老人ホームの評価活動を通じ、高齢社会の課題を認識してもらう。 老人ホームの意義、問題点、その解決策としての評価の実施の重要性を理解させることを目指す。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>超高齢社会において、有料老人ホームの選択はQuality of Lifeや経済面の観点から、本人のみならず家族にとっても極めて重要な問題である。 その意味でこの選択に適切な情報を提供することは社会的に見ても非常に意義のある重要な仕事であるといえる。</p> <p>「NPO法人老人ホーム評価センター」は、主として神奈川県下の老人ホーム(月間3~5件)を3~5名のメンバーにより訪問調査して、その結果を、月2回開催する会議に報告説明し、討議の上適当と判断された場合、その内容をホームページに掲載し一般の利用に供している。 このような活動に実際に参加して討議に加わる事が、高齢社会の課題を実地に体験出来る機会になると考え、学生達の夏の休暇時期に機会を提供するもの。</p> <p>具体的な活動内容は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 事前学習 高齢社会総合研究機構の秋山弘子特任教授より事前学習の機会(1-2時間)を設けてもらうので、ここで高齢社会の課題、問題点を習得する。(活動前の時期に別途指定) NPO法人 老人ホーム評価センターによる説明 「老人ホーム評価活動」の概略を理解する。 実地体験(*) 特定の老人ホーム訪問が決定次第、訪問先、日時とともに、どのような用意が必要かを参加者に連絡する。 参加者は事前準備の上、訪問先での「評価活動」を行う。 老人ホームについては県などが第三者評価を実施しているが、その場合「ケア」の評価が中心で「経営」についてはあまり見えていない。 このNPOではこの「経営」も評価対象として重要視しているところがユニークである。 (*)、先方で昼食をとることもある(費用は原則自己負担であるが場合によっては老人ホーム負担の場合もある)。 評価のための会議 その後、当該訪問先の評価について討議をする会議を開催するが、その会議に出席して評価プロセスを体験してもらう。 体験の報告と感想を発表 		
備考	<p>事前講義: 高齢社会総合研究機構 秋山弘子特任教授による高齢社会の課題・問題点に関する講義を本郷にて行う。 活動日程: 老人ホーム訪問を含む活動期間は、参加者決定後、参加者と訪問先などと連絡を取りつつ決定する。</p>		
参加するための費用*	内訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 約 5,000~6,000 円 宿泊費 円 () 円 () 円 計 約 5,000~6,000 円	<旅程目安> 東京駅-横浜駅往復 3-4回 東京駅-横浜市内往復(老人ホーム訪問) 1-2回	奨励金額 訪問先・回数決定後に算出
ウェブサイト等	NPO法人 老人ホーム評価センター: http://rhhc.sakura.ne.jp		